



幸和製作所

## 「ジスタ / Zista」発売のお知らせ

株式会社幸和製作所(本社：大阪府堺市、代表取締役社長：玉田秀明)は、駐車ブレーキ操作が必要な新型歩行車「ジスタ / Zista」を2024年3月19日(火)より販売開始致しました。

## ■商品特長

## ①駐車ブレーキ操作が不要。

グリップから手を離すだけで駐車ブレーキがかかるので、かけ忘れることがなく安心です。

## ②座面を出した状態では駐車ブレーキは解除されません。

座面を出しているときは、グリップやブレーキレバーに触れたり握っても駐車ブレーキが解除されない構造のため安心です。

## ③タイヤが工具不要で交換可能。

工具が不要で、かんたんにタイヤの着脱ができます。その場ですぐにお手入れができるため安心してご使用いただけます。

## ④日々のお出かけを便利に、うれしい機能。

コンパクトな製品幅でも買い物カゴが載せられる「カゴ載せ機能」、軽量の荷物をフックに掛けることができる「荷物用フック」、クリップ式で片手でかんたんに杖の着脱ができる「ワンタッチステッキホルダー」、便利な機能が満載です。



ネイビー

## ■仕様

品番	WAW33
価格	99,000円(税込) 90,000円(税抜)
組立寸法	幅480×奥行600×高さ715～925mm
折畳寸法	幅480×奥行370×高さ780mm
押し手高さ	700～910mm 8ポジション
座面寸法	幅295×奥行230mm
座面高さ	465mm
袋寸法	幅290×奥行195×高さ180mm
重量	5.9kg
材質	本体：アルミニウム合金、座面・袋：ポリエステル
最大使用者体重	80kg
最大積載荷重	下袋：5kg、フック：合計2kg
JAN	4938765021199
TALS	00030-000241

※各寸法、重量は参考数値です。

## &lt;リリースに関する問い合わせ先&gt;

株式会社幸和製作所 営業部 TEL：072-238-0812 HP：<https://kowa-seisakusho.co.jp/>  
※内容は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合があります。ご了承ください。

# 幸和製作所の歩行車は次のスタンダードへ

大切な身体を預けるものだからこそ、もっと安心できるものがほしい。  
毎日使うものだからこそ、もっと便利なものが欲しい。

私たちは皆さまの明日を創造し、  
「次のスタイル」であり「次のスタンダード」となり得る  
あたらしい歩行車、“ジスタ”を誕生させました。

この一台を必要とされるすべての皆さまとともに  
幸和製作所は次のスタンダードを歩みはじめます。



## こんなヒヤリハットの経験、ありませんか？

## 幸和製作所は歩行車のヒヤリハットゼロをめざします

### Case 01

#### 人的要因のヒヤリハット

駐車ブレーキをかけ忘れて座ろうと  
(立ち上がろうと)したため、  
車体が動いて転倒しそうになった  
ことはありませんか？



＼ジスタなら！／

#### 駐車ブレーキ操作が不要

グリップから手を離すだけで  
駐車ブレーキがかかるので、  
かけ忘れることがなく安心です。



### Case 02

#### 歩行車の構造が要因のヒヤリハット

立ち上がる時ブレーキレバーに引っ  
かかり、意図せず駐車ブレーキが解除  
されてしまい、車体が動いて転倒しそ  
うになったことはありませんか？



＼ジスタなら！／

#### 座面を出した状態では 駐車ブレーキは解除されません

座面を出しているときは、グリップやブレーキ  
レバーに触れたり握っても駐車ブレーキが  
解除されない構造のため安心です。



### Case 03

#### 生活環境が要因のヒヤリハット

毛髪やゴミなどがタイヤに絡まり  
動きが悪くなり、バランスを崩した  
ことはありませんか？



＼ジスタなら！／

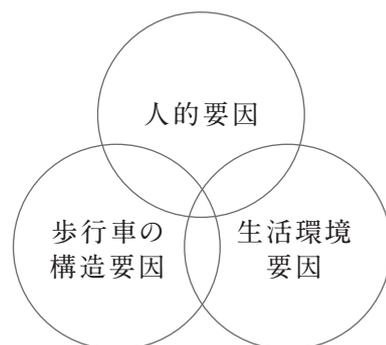
#### その場でかんたんにお手入れが可能です

工具が不要で、かんたんにタイヤの  
着脱ができます。  
その場ですぐにお手入れができる  
ため安心してご使用いただけます。



## 駐車ブレーキ操作が不要ない歩行車 ジスタ

歩行車をご利用時のヒヤリハットの多くは、駐車ブレーキをかけ忘れた状態で座ろうとしたり立ち上がろうとするとといった「人的要因」に起因することが多いことがわかっています。他にも、ユーザーが意図しないにも関わらず駐車ブレーキが解除されてしまう「歩行車の構造上の要因」や、ごみやホコリなどがタイヤ回転部に絡まってバランスを崩してしまう「生活環境要因」によるヒヤリハットの事例があげられています。新型歩行車ジスタはこれらのヒヤリハットを想定し、歩行車のこれまでの常識を見直して開発しました。



[歩行車のヒヤリハット要因]